

コアシンポジウム 3

「消化管疾患治療学の新展開 【GERD に対する内視鏡・外科治療の新展開】」

主司会 鈴木 翔（国際医療福祉大学市川病院消化器内科）

副司会 島村 勇人（昭和大学江東豊洲病院消化器センター）

酸分泌抑制薬依存性・抵抗性 GERD に対して、腹腔鏡下逆流防止手術は欧米を中心に普及しているが、本邦では限られた施設で施行されているのが現状である。一方、2022 年に内視鏡的逆流防止粘膜切除術が保険収載され、今後内視鏡治療の増加が予想されるが、十分なエビデンスは乏しい。本セッションでは GERD に対する外科的・内視鏡的治療の各施設の取り組みをご発表頂き、各治療の今後の可能性を議論したい。